

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順	項目番	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	職員と何人かの家族とコミュニケーションが不足していると考えられる。要望を言われない家族も居るので、全ての家族に平等なサービスを提供したい。	家族会の発足により、要望が多い家族には、施設の思いを感じていただき、要望が少ない家族にはもっと積極的に施設との関わりを持っていただきたい。施設の悩みや、リスクもオープンにしていきたい。	家族の家を1件ずつ訪問し、家族会発足の旨を説明する。事業所の思いを伝え、できるだけ多くの家族に家族会への参加を促す。	1ヶ月
2	27	現在、個々の記録はできているが、ユニット毎の記録ができていない。	ユニット毎の日報の作成により、全体の把握と異常発見時にはすぐに原因が発見できる体制作りをしていく。	具体的なことを日報に書き、1日の流れも書く。申し送り等に活用する。	1ヶ月
3	6	玄関の施錠が身体拘束にあたるが、現在は施錠している。	玄関の施錠を外し、外部とのかかわりを多くし、施設のオープン化をはかる。地域の方が気軽に訪れてもらえる施設にしたい。	まずは週の内何日かを施錠解除するなど、具体的に施錠を外す際の注意点などを職員間で話し合いをしながら行う。施設のオープン化を図りたい。	6ヶ月
4	2	地域とのつながりが浅く、まだまだ利用者が地域とのつながりを持つために事業所自体が地域の一員として日常的に交流していく必要がある。	利用者個々が地域から必要とされる存在になれるようにしていきたい。	運営推進会議に地域子供会役員に参加してもらい、子供会主催の行事に利用者がボランティアで参加する。(廃品回収やごみ拾い、みぞ掃除等)	6ヶ月
5	36	入居者個々の特性を生かす場所が作れていない。	個々の特性を生かして生きがいを見つけよう。色々な所へ入居者展示の企画を提案し、展示させてもらう。入居者や家族と見学に行く。	入居者作成物を地域や市の公共施設に展示をお願いし、展示する。具体的な目標を決め、(文化祭なら毎年10月くらい)目標に向かい作品を作ってもらう。	12ヶ月
6	19	外出はできているが、長時間の外出(日帰り旅行、1泊旅行)等が出来ていない。	入居者に満足してもらうのはもちろん、家族と職員のコミュニケーションの充実を図る。利用者全員が参加を目標にするため、家族や職員に協力してもらう。	宿泊先、宿泊プラン、人数やバリアフリー設備があるか等、事前に職員が下見や企画提案に行き、具体的に話を詰めていく。また、利用者や家族の要望も聞く。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。